

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	04	0401	青少年健全育成事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》  
 青少年の非行防止を図る。

《事業開始の背景》  
 安全で安心なまちづくりを推進するため、少年の非行防止及び健全な育成を図る。

《事業概要》  
 ○少年補導委員による街頭補導活動

---

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① 有害図書の撤去箇所数	箇所	目標	1	1	
		実績	0	0	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	生涯学習部	生涯学習交流課	菅原 一憲	417

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		934				
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	934				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

- 少年補導委員による街頭補導活動 実施回数283回、延べ補導委員数692人
- 少年補導員謝礼 (活動1回当たり1,200円)

```

    graph TD
      City[花巻市] -- 委嘱 --> Committee[少年補導委員]
      Committee -.-> City
      Committee -.-> Police[花巻警察署]
      Police -.-> Committee
      Committee -.-> Citizens[事業者・市民]
      Citizens -.-> Committee
      Committee -.-> Orgs[各種団体]
      Orgs -.-> Committee
      Police -.-> Orgs
      Orgs -.-> Police
      Orgs -.-> Citizens
      Citizens -.-> Orgs
      Police -.-> Citizens
      Citizens -.-> Police
      Orgs -.-> Citizens
      Citizens -.-> Orgs
  
```

報償費 898千円  
 旅費 15千円  
 需用費 10千円  
 役務費 3千円  
 負担金 8千円 (岩手県少年センター連絡協議会)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	04	0401	青少年健全育成事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	豊かな心を育む生涯学習の推進
	4		4-5	
目的	青少年の非行防止を図る。			
対象	青少年（小学生から20歳未満）			
意図	青少年を取り巻く環境の浄化を図り、健全な青少年を育む。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○少年補導委員による街頭補導活動

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態  共催  実行委員会・協議会  事業協力・協定  後援・協賛  補助・助成  委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 街頭補導活動数	回	計画	375	370	
		実績	287	283	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 有害図書の撤去箇所数	箇所	目標	1	1	
		実績	0	0	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

日曜日を除く週6回を基本とし、その他イベントでの補導活動数を計画していたが、補導委員の都合により活動体制が整わなかったことにより、計画を下回った。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

特になし。

目的妥当性	<b>公共関与の妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	少年の非行防止及び健全な育成に関し、市が主体となり関係機関と協働を図り効果的な活動を推進する。
有効性	<b>成果の向上余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	警察、防犯協会、スクールガード等地域ボランティア等が連携することで更に成果向上が見込まれる。
効率性	<b>事業費・人件費の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	巡回計画や集計報告等最低限の事務を職員が行っている。最小経費のため、削減できない。
公平性	<b>受益と負担の適正化余地</b> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	全市民を対象としているため公平である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

青少年の非行防止のため、少年補導委員77人（30班体制）で街頭補導活動を実施した結果、花巻警察署管内の非行少年は17人と前年の33人より大幅に減少する成果があった。